第2次北栄町まちづくりビジョンの進捗状況
第1節　地域資源で稼ぎ賑わうまちづくり（産業・観光）

まちづくりビジョン検討委員会・・・見直しに係る検討をするための委員会。
ビジョンについて専門的、多角的な検討　⇒　町長に提言する。

資料1

基本施策	具体的施策	項　　目 内容はKPIより。	現状値(R1) KPIより。	実績(R2)	実績(R3)	実績(R4)	実績(R5)	実績(R6)	実績(R7) 期末	取組内容・状況(R7) 期末	目標値(R12)	総合戦略
第1項 農林業の振興	1.農業の多面的価値を活かすまちづくり	新規就農者相談数	述べ50件	延べ74件	延べ100件	延べ100件	延べ49件／年	述べ63件／年	延べ43件／年	町に就農相談員を設置し、JA、生産部、普及所等の関係機関と情報共有しながら新規就農希望者を支援した。	述べ60件／年	—
		園芸産地活力増進事業実施件数	4件	4件	4件	2件／年	3件／年	6件/年	4件／年	長いも腐敗対策パレット、らっきょう収穫機器及び調整機、ミニトマトの遮光資材、白ネギの灌水用資材の導入を支援した。	5件／年	—
		がんばる農家プラン事業実施者数	5件	6件	4件	5件 (新規認定2件)	5件／年 (新規認定2件)	5件/年 (新規認定3件)	4件／年 (新規認定1件)	認定されたプランに基づき機械等の導入を行い、各生産者の規模拡大を支援した。	6件／年	—
		有害鳥獣侵入防止柵設置事業取り組み地区数	–	2件	1件	1地区／延	1地区／延 0件／年	6件/年	0件/年	該当となる申請なし	2地区	—
	2.健全な森林をつくる	森林経営管理面積	–	11ha	29ha／2年	31ha／3年	33.05ha／4年	51.33ha／5年	34.24ha/6年	管理されていない森林のうち、森林経営に適した山林の管理を進めるため意向調査等を実施した。	50ha／11年	—
		今後の抵抗性クロマツ植栽本数　※R5年度より配布樹木を「広葉樹」に変更	–	1,530本	1,445本／年 延2,975本	2,000本／年 延4,975本	1,758本／年 延6,733本	1,462本／年 延8,195本	1,280本/年 延9,475本	自治会と連携し、要望をとりまとめて10月と2月に広葉樹（トベラ・マサキ・ネズミモチ）の苗木を自治会・個人に配布し、飛砂防止のための植樹を支援したほか、鳥取大学と連携し、生育状況を調査・分析している。	延5,000本	—
第2項 商工業の振興	1.商工業の振興	町内企業への訪問件数	74社	38社／年	20社／年 58社／2年	24社／年 82社／3年	32社／年 114社／4年	33社/年 147社/5年	71社/年 218社/6年	新規創業者へのフォローアップ、企業の新増設、複業人材の活用支援等を目的に商工会及び地域おこし協力隊同伴のもと町内事業者訪問（55社延べ71回）を行い、町内事業者の業況把握に努めた。	440社/11年	—
		町内企業の経営革新に関する計画認定件数（地域未来投資法等）	1社	0件	4件／年 4件／2年	1件／年 5件／3年	2件／年 7件／4年	0件／年 7件／5年	0件／年 7件／6年	該当となる申請なし	11社/11年	—
		町内企業増設社数（企業立地促進奨励金申込み件数）	4社/年	6社/年	2社／年 8社／2年	2社／年 10社／3年	0社／年 10社／4年	4社／年 14社／5年	5社／年 19社／6年	企業立地及び雇用促進奨励金の支給により固定資産税額を支援する。各事業者に事業の紹介を行った。	33社/11年	—
		町内企業への公共事業等の受注割合	64%	47%	43%	80%	90%	88%	84%	本町商工振興に資するため、公共調達の際の町内業者を優先して購入するなど受注機会の拡大に努めた。	80%	—
		イクボス・ファミボス宣言取り組み町内企業数	16社	–	18社／2年	18社／3年	19社／4年	22社／5年	24社／6年	町商工会と連携しながら商工振興を進めるとともに、ワークライフバランスの視点を町内事業者に広く周知した。	30社／11年	—
		事業承継件数（商工会アンケート『後継者候補』）	35社	36社	県の調査未実施	3社／年 39社／3年	6社／年 45社／4年	1社／年 46社／5年	3社／年 49社／6年	事業承継・引継ぎセンターや県が行う相談会及び制度等の周知を図った。	60社／11年	—
		町内起業者数（創業支援事業）	3社/年	4社/年	4社/年 8社/2年	5社／年 13社／3年	7社／年 20社／4年	12社／年 32社／5年	4社／年 36社／6年	商工会と連携し北栄町創業支援、北栄町由良宿まちづくり活性化支援事業において起業・創業を支援した。 由良宿まちづくり活性化支援事業は、申請回数を拡大した。（1回➡2回まで）	33社/11年	—
		北栄町商工会加入者数	377社	400社／1年	402社／2年	400社／3年	410社／4年	405社／5年	407社／6年	商工会と連携し、エネルギー・原材料価格の高騰化の影響を受けた町内事業者の持続的発展に向けた支援を行った。	380社／11年	—
第3項 観光の振興	1.観光資源の活用	青山剛昌ふるさと館入館者数 （インバウンド受入数）	22万人/年 (2万人/年)	6万4千人/年 (400人/年)	8万1千人/年 (800人/年)	13万5千人/年 (2千人/年)	18万人/年 (1万3千人/年)	23万4千人/年 (1万2千人/年)	25万4千人/年 (2万人/年)	・入館者数は過去最多だった前年を2万人上回る254,787人/年を記録。 ・強風や降雪等の悪天候により9月と1月が前年を下回る入館者数となったが、その他全ての月で前年を上回った。 ・主要なアジア圏のインバウンドが前年を上回っており、特に台湾が3倍以上に増加している。	20万人/年 (3万人/年)	インバウンドは無
		町内主要観光施設入込客数	76万5千人/年	45万6千人/年	40万人/年	55万8千人/年	69万1千人／年	80万4千人/年	155万6千人/年	・道の駅ほうじょうがオープンし、町全体の入込客数は前年比193%となった。 ・コナン通り周辺の施設については、平均して前年比10%前後の増となった。 ・北条オートキャンプ場、レークサイド大栄、道の駅大栄については前年比横ばいもしくは減少傾向にあり、原因として昨今の猛暑、類似施設の開業があげられる。	105万7千人/年	有
	2.広域観光の促進	鳥取県中部圏域観光入込客数	176万1千人/年(H30年)	180万8千人/年(R1年)	124万6千人/年(R2年)	126万5千人/年(R3年)	318万1千人/年 (2月末)	194万7千人/年(R5年)	189万2千人/年(R6年)	・倉吉・三朝・湯梨浜については前年比横ばいもしくは減少したが、北栄・琴浦については増加している。 ・インバウンドについては、鳥取中部観光推進機構が中心となり誘致に注力。米子ー香港定期便は9月より運休となったが、台湾香港の旅行会社への誘客支援金については、14ツアー350人程度の申請があった。また、中部全体のインバウンドの入込客数はR5からR6にかけて3000人弱増加（20%増）した。	250万人/年	有
	3.道の駅の再整備	道の駅「北条公園」への立寄者数（レジ通過者数）	4万3千人/年	2万9千人/年	2万人/年	1万人/年	実績なし	実績なし	73万7千人/年	季節に応じたイベント等を実施し、目標値を大幅に上回ることができた。今後も北栄町の観光の拠点となる施設として、指定管理者と協力して運営を行う。	33万人/年	有

第2節 生涯学び未来を育てるまちづくり(教育・生涯学習・子育て・文化・スポーツ)

基本施策	具体的施策	項　　目 内容はKPIより。	現状値(R1) KPIより。	実績(R2)	実績(R3)	実績(R4)	実績(R5)	実績(R6)	実績(R7) 期末	取組内容・状況(R7) 期末	目標値(R12)	総合戦略
第1項 未来を作る教育の推進	1. 教育環境の充実	全国学力・学習状況調査平均正答率	【小6】 国語61% (国63.8%) (県63%) 算数63% (国66.6%) (県63%) 【中3】 国語71% (国72.8%) (県73%) 数学58% (国59.8%) (県60%) 英語55% (国56%) (県54%)	数値なし ※新型コロナウイルス感染症拡大のため全国調査なし	【小6】 国語 66% (国64.7%) (県64%) 算数70% (国69%) (県70.2%) 【中3】 国語 62% (国64.6%) (県63%) 数学54% (国56%) (県57.2) 英語 実施なし	【小6】 国語 57% (国65.6%) (県64%) 算数58% (国63.2%) (県62%) 理科58% (国63.3%) (県63%) 【中3】 国語 66% (国69.0%) (県68%) 数学50% (国51.4%) (県51%) 理科48% (国49.3%) (県49%)	【小6】 国語 67% (国67.2%) (県67%) 算数65% (国62.5%) (県61%) 【中3】 国語 67% (国69.8%) (県69%) 数学46% (国51.0%) (県50%) 英語34% (国45.6%) (県42%)	【小6】 国語 65% (国67.7%) (県68%) 算数62% (国63.4%) (県63%) 【中3】 国語 58% (国58.1%) (県57%) 数学52% (国52.5%) (県50%)	【小6】 国語 67% (国66.8%) (県65%) 算数62% (国58%) (県55%) 理科63% (国57.1%) (県56%) 【中3】 国語 48% (国54.3%) (県52%) 数学39% (国48.3%) (県44%) 理科　456 (国503) (県490) ※理科はIRTスコアを採用	・確かな学力づくり 講師招聘による授業研究事業、学力調査(全国学調・とっとり学調・学力調査・NRT等)、サマースクール実施、学力向上アクション週間の設定、自治会等地域ボランティア学習活動支援事業等 小6では国語は全国・県平均とほぼ同じ、算数と理科は全国・県平均を上回った。 中3では　国語・数学・理科ともに全国・県平均を下回った。 各校が結果を分析し、校内研究の充実を図り、授業改善を行った。	【小6】 国県数値以上 【中3】 国県数値以上	有
		不登校児童生徒の出現率	【小学校】 0.64% (H30 国0.69%、 県0.86%) 【中学校】 2.78% (H30 国3.64%、 県3.58%)	【小学校】 1.36 % (国1.00% 、県1.19%) 【中学校】 4.18 % (国4.09% 、県3.75%)	【小学校】 1.84% (国1.10% 、県1.10%) 【中学校】 6.01% (国3.80% 、県3.80%)	【小学校】 1.49% (国 、県) 【中学校】 6.18% (国 、県) ※国・県比較数値未定	【小学校】 1.92% 県2.19 国1.7(R4年度) 【中学校】 6.32% 県7.06 国6.0(R4年度)	【小学校】 2.93% (県)2.27% (国)2.14% 【中学校】 5.78% (県)7.19% (国)6,71% *小中ともに国、県の数値はR5年度	【小学校】 1.69% (県)2.39% (国)2.30% 【中学校】 5.30% (県)7.72% (国)6.79% ＊小中ともに県、国の数値はR6年度	・豊かな人間関係づくり WEBQU調査、いじめ実態調査、子どもじんけんサミットの開催、生き方を学ぶ講演会の開催等 ・SSWを2名配置し、校種別に担当 アウトリーチによる支援を行う ・チーム学校としてSC、SSWによる支援の方向性や情報共有 ・北条中学校に校内教育支援センターを設置した。町内の中学校2校に設置が整い、不登校状況が続く生徒への対応、不登校未然防止の対応を行った。 R6年度の出現率を比較すると、小・中学校ともに下回っている。中学校では小学校からの不登校状況が継続している生徒が多い。中学校に設置した校内教育支援センターでは、小学校から不登校が継続していた生徒にアプローチが進み、好転する動きがみられた。小学校では学校生活適応支援員を配置し、不登校児童へのサポートを行っている。小中学校にそれぞれ巡回しているSSWの働きかけも不登校児童生徒の状況の好転につながった。	・小＝国県数値以下 ・中＝国県数値以下	有
	2. 地域を支える人材の育成	地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある生徒の割合	【中3】 35.9% (国39.4%) (県40.8%)	数値なし ※新型コロナウイルス感染症拡大のため全国調査なし	【中3】 51.3% (国43.8%) (県45.6%)	【中3】 52.6% (国40.7%) (県42.2%)	【中3】 61.2% (国63.9%) (県68.1%) 国、県を下回るが、昨年度より数値は伸びている	【中3】 81.4% (県)76.8% (国)76.1% 国、県を上回っている。	【中3】 66.6% (県)75.5% (国)75.3% 県、国を下回っている ＊質問内容は「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」	・北条、大栄校区ごとにコミュニティスクールを導入し地域の人材を生かした取組を実践した。地域コーディネーターを中心に各校で学習支援ボランティアを募って活動している。 ・北条中では大トーク大会、大栄中では大討論会を開催し、小学生や高校生、地域の方と語る機会を設けた。 ・児童・生徒に対し地域のボランティア活動の周知を行った。	【中3】 国県数値以上	有
		鳥取県の課題に対してアイデアがある高校生の割合 ※実践型学習「地域探究の時間」の事前事後アンケート	41.4%(事前30.4%)	44.6%(事前22.4%)	50.4%(事前23.5%)	40.0% (事前 39.0%)	62,8%	51.6% (事前45.6%)	65.8% (事前64.0%)	中央育英高校の地域探究の時間(10年目)の取り組みで、2年生が地域の魅力発信や課題解決に取り組んだ。 加えて1年生も地域探究の基礎学習として地域に出向いて探究学習を行い、2年生に繋がる経験を重ねた。 高校生議会(12年目)を1月26日に開催し、12人の高校生議員が質問を行った。	50%	有
	3. 生涯学習活動の推進	生涯学習出前講座の参加者数	2,878人	1,139人／年	1,148人／年	1,300人／年	1,980人／年	2,129人/年	1,810人/年	・129講座(おとなほくえい塾、学習用視聴覚教材貸出含む)	3,000人／年	―
		中央公民館利用者数 ※各講座や文化教室、大栄分館(指定管理)の利用者含む	69,000人	61,032人 (うち本館) 16,000人 (うち分館) 45,032人	55,352人 (うち本館) 15,572人 (うち分館) 39,780人	67,973人 (うち本館) 18,868人 (うち分館) 49,105人	74,624人 20,343人(本館) 54,281人(分館)	81,748人 22,323人(本館) 59,425人(分館)	65,729人 (うち本館) 23,415人 (うち分館) 42,314人	・各種講座等の学習及び自主的な活動グループの貸館利用(大栄分館については、放課後こどもクラブ利用を含む) ・大栄分館建替事業により、12月から解体工事となっている	90,000人	―
		図書館来館者数 ※北条分室も含む	58,765人	43,518人	47,642人	48,000人／年	58,911人／年	73,813人/年	81,106人/年	・テーマに沿った特集・展示などを実施 ・町民主体の「夢の図書館プロジェクト」企画を実施 ・おはなし会(本館・分室)を実施 ・2階2部屋の利活用	62,000人／年	―

第2節 生涯学び未来を育てるまちづくり（教育・生涯学習・子育て・文化・スポーツ）

基本施策	具体的施策	項　目 内容はKPIより。	現状値（R1） KPIより。	実績（R2）	実績（R3）	実績（R4）	実績（R5）	実績（R6）	実績（R7） 期末	取組内容・状況（R7） 期末	目標値（R12）	総合戦略
第2項　子育て支援の充実	1．結婚、出産、子育てに安心、喜びを感じられる環境づくり	町の子育て支援施策に満足する人の割合 ※町民アンケートのうち、「関心がない」「無回答」を除いた構成比	71.8% 充分満足 8.3% まあ満足 63.5% やや不満 26.6% 全く不満 1.6%	数値なし ※調査は令和7年度に実施	数値なし ※調査は令和7年度に実施	数値なし ※調査は令和7年度に実施	数値なし ※調査は令和7年度に実施	数値なし ※調査は令和7年度に実施			85.0%	有
		町の子育て支援施策に満足する人の割合 ※住民生活満足度調査							満足　26.6% どちらともいえない　50.3% 満足していない 23.2%	・子育て世帯包括支援センター（ネウボラ）によるワンストップ窓口として総合的な支援サービスを提供した。 ・子育てと仕事の両立支援として、保育料等無償化などの経済的負担軽減や、病児保育、一時預かりなど保育サービスも幅広く提供した。 ・妊婦のための支援給付金を実施し、相談支援と経済的支援を同時に実施した。		
		妊婦面談	100.0%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	母子手帳交付時に面談を実施。体調不良等で来庁できない場合は後日面談を実施した。また妊娠後期には電話または面談を実施し、継続的な支援を行った。	100.0%	―
	2．子育てと仕事の両立支援	こども園入所待機児童数	0人	5人	2人	8人	10人	9人	9人	・職員配置について、国基準を上回る北栄町の基準を設け、乳幼児が安心して過ごせる人的環境を整えたが、申込のあった児童全てを受け入れる職員配置は職員が不足するためできなかった。 ・在宅育児支援事業により、家庭で保育する保護者に給付金を支給した。	0人	有
		放課後児童クラブ待機児童数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	・申込のあった全ての利用対象児童を受入れた。 ・保護者が就労等で昼間家にいない児童を放課後に預かり、児童の健全育成を行った。	0人	有
第3項　文化・芸術の振興	1．文化活動及び文化財の保存・活用の推進	北栄みらい伝承館（北条歴史民俗資料館）利用者数	2,153人	2,596人	3,022人	2,822人／年	3,058人／年	2,617人/年	3,670人/年	企画展を6本（「山本隆博絵画展」「松本必明遺作展」「大栄小学校展」「北栄町の文化財」「昔の生活道具から」「曲村・谷本家資料にみる郷土の歴史」）開催し、北栄町の歴史・美術・民俗等を紹介した。「山本隆博絵画展」と町制施行20周年を記念して開催した「北栄町の文化財」展は特に好評であった。また、常設展示は5回展示替えをし、生田和孝、加藤廉兵衛の作品等を紹介した。	2,000人／年	―
		美術展事業作品展数	158作品	153作品	150作品	134作品	135作品	141作品	136作品	町民等から優れた芸術作品を募集し美術展を開催（11/3～11/15） 日本画、洋画、デザイン、書道、版画、写真、工芸、ちぎり絵、切り絵、絵手紙、和紙あかりの11部門から出展があった。新規出展が12点あったものの、和紙あかり教室の閉鎖に伴い和紙あかり部門の出展数が昨年度より6点減ったこともあり、昨年より出展数が少なかった。それ以外は昨年並の作品数を確保することができた。入場者は13日間で627人だった。	160作品	―
第4項　スポーツの振興	1．スポーツの振興	北栄スポーツクラブへの加入者数	1,238人	1,235人	1,250人	1,210人／年	1, 213人／年	1,279人/年	1,197人/年	町報、HP等を活用した会員募集の周知	1,400人／年	―
		各種スポーツ大会の参加者数	406人	1,275人	1,139人	2,117人／年	2,106人／年	2,157人/年	1,916人/年	スポーツグランプリ表彰対象種目のうち、7種目の大会を開催。また2種目（ソフトボール、グランドゴルフ）は雨天のため中止	450人／年	―

第3節 誰一人取り残さないまちづくり(人権・福祉・健康・男女)

基本施策	具体的施策	項目 内容はKPIより。	現状値(R1) KPIより。	実績(R2)	実績(R3)	実績(R4)	実績(R5)	実績(R6)	実績(R7) 期末	取組内容・状況(R7) 期末	目標値(R12)	総合戦略
第1項 人権教育の推進	1．人権教育の推進	人権を学ぶ会の開催・参加者	全自治会で開催。参加者1,112人	44自治会で開催 参加者 597人	30自治会で開催 参加者 431人	37自治会で開催 参加者 591人	52自治会で開催 参加者 818人	58自治会で開催 参加者822人	62自治会で開催 参加者901人	アンケート結果 ・満足(どちらかといえば満足)89.3% ・今後に活かせる学習90.4%	全自治会で開催 参加者1,200人	―
		推進者の養成・配置	人権教育推進協力員20人	推進協力員 26人	推進協力員 26人	推進協力員 23人	推進協力員 23人	推進協力員 17人	推進協力員 18人	協力員会議3回開催 協力員研修会1回開催	人権教育推進協力員30人	―
第2項 福祉の充実	1．地域福祉の充実	自治会や地域での活動に参加している人の割合	75.1%	調査なし	調査なし	調査なし	77.7%	調査なし	調査なし	地域福祉推進計画に沿って、地域福祉推進フォーラムの開催や広報等での周知のほか、様々な集いの場の創出などを通して地域活動への参加を推進した。	85%	―
		身近な支え合いの活動に参加したいと思う人の割合	45.8%	調査なし	調査なし	調査なし	47.8%	調査なし	調査なし	地域福祉推進計画に沿って、ボランティア活動の推進や支え愛連絡会の開催支援、広報等への周知を行い、身近な支えあい活動などを推進した。	65%	―
	2．高齢者福祉の充実	要介護認定率	14.7%	14.4%	14.6%	14.6%	15.0%	14.9%	14.8%	・各種介護予防教室や地域ケア会議を通して要介護状態の進行を遅らせると同時に、こけないからだ体操やいいね！北栄町体操の普及によりフレイル予防を進めている。	14.7% (現状維持)	―
		いきいきサロン	45自治会	43自治会	44自治会	44自治会	43自治会	44自治会	44自治会	自治会の参集場面など機会を捉えて、働きかけを実施した。自治会内の世話人に負担があり、実施自治会数が伸び悩んでいる。	全自治会	―
	3．障がい者福祉の充実	施設入所者数(施設入所者の地域生活への移行)	41人	41人	40人	36人	33人	32人	29人	入所施設及び相談支援事業所等と連携し地域生活への移行支援を行った。	38人	―
		緊急受入等をする地域生活支援拠点の設置	0か所	0か所	5か所	6か所	6か所	6か所	6か所	地域生活支援拠点の設置について、中部で協議し、町要綱に沿って対象事業所の認定促進を図った。	1か所 (中部圏域で)	―
		福祉施設から一般就労への移行者数	3人	3人	0人／年 3人／2年	1人／年 4人／3年	1人／年 5人／4年	0人／年 5人／5年	0人／年 5人／6年	障害者就業・生活支援センターやハローワーク等関係機関と連携して、一般就労への移行が進むよう取り組んだ。	8人／11年	―
第3項 健康づくりの推進	1．健康づくり活動の推進	特定健診受診率	41.8%	39.5%	36.3%	41.3%	43.9% (速報値)	38.6% (速報値)	41.0% (速報値)	・国保加入者で未受診者に個別受診勧奨通知を発送 ・集団健診を申込した人で未受診の人に電話で随時受診勧奨を実施 ・フルセット健診を9回、休日健診を2回実施 ・働き盛り世代の受診率向上のため、WEB予約を継続 ・みなし健診対象者に通知を発送	60%	―
		週2回以上30分以上の運動をする人の割合	35%	36.3%	調査なし	調査なし 健康ほくえい計画 (次回はR6の調査)	調査なし 健康ほくえい計画 (次回はR7の調査)	調査なし 健康ほくえい計画 (次回はR7の調査)	38.4%	・スポーツクラブと連携して運動体験教室(バランスボール、ノルディックウォーク)を開催した。また、運動習慣の継続を目的に参加者へ回数券を進呈し、利用状況により勧奨を行った。 ・いきいきサロンや社協、スポーツクラブの運動教室など75歳以上の方を対象にした事業や健診会場で、運動習慣の可視化として体組成測定を実施した。	50%	―
		食生活改善推進員組織数	44自治会	42自治会	37自治会	33自治会	34自治会	33自治会	32自治会	・推進活動や会員継続に向けて丁寧に支援した。 ・会員による地区単位の伝達講習会、中学校料理教室、子どもほくえい塾料理教室等が実施された。 ・会員による小学校料理教室、支援センター食育の実施、こども園食育協力。 ・伝達講習会を延べ28回実施した。 ・子どもほくえい塾料理教室等の活動　8回	63自治会	―

第3節 誰一人取り残さないまちづくり（人権・福祉・健康・男女）

基本施策	具体的施策	項　目 内容はKPIより。	現状値(R1) KPIより。	実績(R2)	実績(R3)	実績(R4)	実績(R5)	実績(R6)	実績(R7) 期末	取組内容・状況(R7) 期末	目標値(R12)	総合戦略
第4項 男女共同参画社会の推進	1．男女共同参画社会の環境整備	委員会・審議会における女性委員の割合	37.9%	39.0%	39.3%	40.4%	39.9%	37.8%	37.9%	・女性登用率は自治法202条の3(自治体で設置する各種委員)と自治法180条の5(法令で設置が定められる委員)の合計による。	男女ともに 40%を 下回らない	―
		男女が平等に参加できる社会づくりに対する満足度（町民アンケート）	51.9% 充分満足 3.5% まあ満足 48.4% やや不満 24.2% 全く不満 2.2% 関心がない 16.4% 無回答 5.3%	数値なし ※調査は令和7年度に実施	数値なし ※調査は令和7年度に実施	数値なし ※調査は令和7年度に実施	数値なし ※調査は令和7年度に実施	数値なし ※調査は令和7年度に実施			70.0%	―
		コミュニティの一員としての満足度（住民生活満足度調査）							非常に満足 4.0% かなり満足 8.5% やや満足 28.5% どちらともいえない　41.6% あまり満足していない　10.5% ほとんど満足していない 2.8% 全く満足していない　4.0%	・女性と町長と語る会の開催。 ・自治会長会評議員会と男女共同参画推進会議との意見交換会の開催。 ・町報、ホームページ等での啓発		

第4節 安全で持続可能なまちづくり(環境・インフラ・安全・生活)

基本施策	具体的施策	項　　目 内容はKPIより。	現状値(R1) KPIより。	実績(R2)	実績(R3)	実績(R4)	実績(R5)	実績(R6)	実績(R7) 期末	取組内容・状況(R7) 期末	目標値(R12)	総合戦略
第1項 環境にやさしいまちづくりの推進	1.再生可能エネルギー等の活用によるまちづくりの推進	家庭用創エネ設備等設置件数	354件	387件	422件	458件/3年	495件/4年	546件/5年	579件/6年	・町HPで補助金交付状況等を随時掲載 ・町報(2025.5月号、8月号)で補助金制度周知	500件/11年	有
		公共施設の地域新電力(地域の再生可能エネルギーを活用)契約率	0%	0.0%	0.0%	0.0%	約95%	約98%	約98%	R5.4から公共施設の電気は鳥取みらい電力へ切り替え。 風力発電に関する電気もR6.10月にFIT特定卸供給により鳥取みらい電力に切り替え。 ※融雪装置(松神・冬季のみ)はこれまでどおり中国電力。	100%	有
	2.環境にやさしいライフスタイルへの転換	住宅省エネ改修戸数	149戸	156戸	172戸	180戸/3年	184戸/4年	190戸/5年	206戸/6年	・町HPで補助金交付状況等を随時掲載 ・町報(2025.10月号)で補助金制度周知	400戸/11年	有
	3.ごみの減量化と適正処理の推進	一人当たりのごみ排出量(事業系ごみ除く)	668g/人日	655g/人日	662g/人日	560g/人日	612g/人日	606g/人日	600g/人日	・町報(かんきょう)でごみの分別や正しい出し方を掲載 ・環境学習会、エコクラブ、地域探究等で環境教育の実施 (環境学習会8回、エコクラブ7団体) ・環境パトロールの実施(6/24大栄地区4自治会) ・軟質プラスチック拠点回収の実施でごみの減量化への意識が高まった。 (4月~3月軟質プラスチック回収量　1,398kg) ・プラスチックの一括回収に向けて、中部で連携して取り組んだ。 ・生ごみの減量化に向けてキエーロづくりのワークショップを開催した。 ・ごみの区分と出し方を改訂し全戸配布を行った。	500g/人日	—
第2項 インフラの整備	1.交通基盤の整備・維持管理	町道の改良	74.9%	改良率 74.9%	改良率 74.9%	改良率 74.8%	改良率 74.8%	改良率 74.8%	改良率 74.8%	地元要望も含め、計画的に道路改良工事を実施。(道路台帳)	80.0%	—
		町道の舗装率向上	95.8%	舗装率 95.8%	舗装率 95.8%	舗装率 99.5%	舗装率 99.5%	舗装率 99.5%	舗装率 99.5%		98.0%	—
		公共交通に不満を持つ人の割合(町民アンケート)	56.6% 充分満足 2.2% まあ満足 31.8% やや不満 37.7% 全く不満 18.9% 関心がない 4.7% 無回答 4.7%	数値なし ※調査は令和7年度に実施	数値なし ※調査は令和7年度に実施	数値なし ※調査は令和7年度に実施	数値なし ※調査は令和7年度に実施	数値なし ※調査は令和7年度に実施			45.0%	—
		公共交通に対する満足度(住民生活満足度調査)							満足　14.1% どちらともいえない　37.2% 満足していない 48.7%	・乗り合いタクシー事業を実施。 ・タクシー助成を実施。		

第4節 安全で持続可能なまちづくり（環境・インフラ・安全・生活）

基本施策	具体的施策	項　　目 内容はKPIより。	現状値（R1） KPIより。	実績（R2）	実績（R3）	実績（R4）	実績（R5）	実績（R6）	実績（R7） 期末	取組内容・状況（R7） 期末	目標値（R12）	総合戦略
第2項 インフラの整備	2．上水道の整備・維持管理	配水管耐震化	20.9%	20.5%	21.1%	21.6%	21.85%	22.13%	22.72%	計画的に配水管改良工事を実施。	30.0%	—
	3．下水道の整備・維持管理	水洗化率	90.5%	91.48% 公共下水道 88.92% 農業集落排水 1.55% 合併浄化槽 1.01%	91.90% 公共下水道 89.38% 農業集落排水 1.55% 合併浄化槽 0.97%	92.4% 公共下水道 92.3% 農業集落排水 99.5% 合併浄化槽 96.5%	92.7% 公共下水道 92.7% 農業集落排水 99.5% 合併浄化槽 96.4%	93.2% 公共下水道 93.3% 農業集落排水 100.0% 合併浄化槽 96.6%	94.4% 公共下水道 94.6% 合併浄化槽 96.2%	未接続者へ接続勧奨を実施。	100.0%	—
	設・住環境の整備・維持管理	町営住宅の適正管理	120戸	120戸	105戸	105戸	60戸	60戸	60戸	・住宅のセーフティネットとして、由良宿団地60戸の維持管理、入居者募集などを行った。	60戸	—
	5．情報化の推進	CATV加入率（TV）	84.41%	83.92%	84.09%	83.98% （1月末時点）	83.60% （1月末時点）	83.24% （1月末時点）	82.67% （1月末時点）	新聞折込によるチラシ配布 テレビ・ネットの加入・セット割キャンペーンを実施 （上記いずれもTCCが実施）	90.0%	有
		CATV加入率 （インターネット）	33.84%	36.33%	38.02%	39.68% （1月末時点）	40.28% （1月末時点）	41.15% （1月末時点）	42.46% （1月末時点）		40.0%	有
第3項 安全なまちづくりの推進	1．地域防災・危機管理対策の充実	自主防災組織の組織化	48組織	48組織	48組織	48組織	48組織	48組織	48組織	自治会長会等で自主防災組織の重要性を説明し、組織化を促した。 訓練活動助成金や資機材購入の助成を周知し、組織の活性化を図った。	63組織	有
	2．生活安全の対策の充実	補助金活用による空家撤去	8件	9件	6件	4件	3件	2件	4件	指導書等の送付を行い、適正管理や除却を促した。	毎年8件	有
		防犯カメラ設置（観光分を除く）	1件	2件	2件	2基／3年	2基／4年	2基／5年	2基/6年	必要に応じて設置を検討する。（現時点で設置要望なし）	3基／11年	有

第5節 人と人とのつながりを育むまちづくり（コミュニティ・町政・交流・移住定住）

基本施策	具体的施策	項　目 内容はKPIより。	現状値（R1） KPIより。	実績（R2）	実績（R3）	実績（R4）	実績（R5）	実績（R6）	実績（R7） 期末	取組内容・状況（R7） 期末	目標値（R12）	総合戦略
第1項 地域活動・まちづくりへの参画推進	1．協働活動の推進	地域活動助成の実施件数	8件/年	9件/年	6件/年 （15件/2年）	8件/年 （23件/3年）	5件/年 （28件/4年）	5件／年 （33件／5年）	3件／年 （36件／6年）	コミュニティ助成事業　2自治会実施（合計4,800千円） 地域の自立・活性化支援事業　1団体実施（合計500千円）	100件/11年	―
		町民参加によるまちづくりに対する満足度（町民アンケート）	51.8% 充分満足 3.1% まあ満足 48.7% やや不満 23.6% 全く不満 3.5% 関心がない 15.7% 無回答 5.3%	数値なし ※調査は令和7年度に実施	数値なし ※調査は令和7年度に実施	数値なし ※調査は令和7年度に実施	数値なし ※調査は令和7年度に実施	数値なし ※調査は令和7年度に実施			60%	―
		多様な地域活動参加の機会に対する満足度（住民生活満足度調査）							満足　15.4% どちらともいえない　69.9% 満足していない 14.8%	参加者21名が5チームに分かれて「新たな公民館の活用」をテーマに提案・発表した。 5/31　第1回ほくラボ 6/22　第2回ほくラボ 7/13　ほくラボ講演会 8/10　中間発表 10/19　最終発表		
	2．開かれた町政運営	役場からの情報発信・情報公開の満足度（町民アンケート）	58.8% 充分満足 6.0% まあ満足 52.8% やや不満 23.3% 全く不満 3.5% 関心がない 10.7% 無回答 3.8%	数値なし ※調査は令和7年度に実施	数値なし ※調査は令和7年度に実施	数値なし ※調査は令和7年度に実施	数値なし ※調査は令和7年度に実施	数値なし ※調査は令和7年度に実施			70%	―
		役場からの情報発信の満足度（住民生活満足度調査）							満足　19.8% どちらともいえない　61.1% 満足していない 19.1%	・町ホームページ、公式YouTube、公式SNS（Facebook、X、Instagram）で随時情報発信。		
第2項 交流の推進	1．交流の推進	台湾台中市大肚区との交流	相互青少年交流派遣・受入 各1回／年	0回/年	0回/年	0回/年	0回／年	1回/年	2回/年	・5年ぶりに台湾台中市大肚区から、小中学生などで構成する青少年訪問団18名が来町（5月19日～22日）され、授業交流やホームステイなどの青少年交流を行った。 ・教育長をはじめとした町内の中学生などで構成する青少年訪問団31名が台湾台中市大肚区を訪問（7月28日～31日）し、授業交流やホームステイなどの青少年交流を行い、また、大道国民中学校と北条・大栄中学校で「姉妹校協定」を締結した。	相互青少年交流派遣・受入れ 各1回／年 町民参加の交流1回／年	―
		滋賀県湖南市との交流	相互交流派遣・受入れ各2回／年	0回/年	2回/年	2回/年	2回／年	2回/年	2回/年	・湖南市夏祭まつり（8月2日）、湖南市秋まつり（11月23日）に参加し、北栄町のPRや交流を行った。 ・すいかながいも健康マラソン大会（6月15日）、北栄砂丘まつり（8月24日）で湖南市を受け入れた。	相互交流派遣・受入れ 各2回／年 民間主体の交流1回／年	―
		教育旅行受入れ家庭の増加	10家庭	0家庭	0家庭	0家庭	8家庭／4年	新規0家庭 8家庭/5年	1家庭 7家庭/6年	・教育旅行の受入れを実施し、8校84名の生徒を9家庭（延22家庭）で受入れた。 ※新規1家庭	15家庭／11年	―
		民泊事業者の増加	1事業者	0事業者	0事業者	0事業者／年 1事業者／3年	1事業者／年 2事業者／4年	2事業者/年 4事業者/5年	2事業者/年 6事業者/6年	・江北地区で、古民家をリノベーションした「ゲストハウスeegan」が開業した。 ・由良地区で、「グリンシン・テイムル」、「グリンシン・バラット」が開業した（1事業者が2件開業）。	3事業者／11年	―

第5節 人と人とのつながりを育むまちづくり(コミュニティ・町政・交流・移住定住)

基本施策	具体的施策	項　　目 内容はKPIより。	現状値(R1) KPIより。	実績(R2)	実績(R3)	実績(R4)	実績(R5)	実績(R6)	実績(R7) 期末	取組内容・状況(R7) 期末	目標値(R12)	総合戦略
第3項 移住定住の促進	1．北栄暮らしの支援	移住相談会へ参加	8回／年	10回／年	10回／年	6回／年	7回／年	6回／年	8回／年	・移住相談会への参加、窓口での相談を実施した。	10回／年	有
		移住者数	66人／年	79人/年	91人/年	63人／年	77人／年	40人／年	67人／年	・各種補助事業(移住者住宅取得支援補助金、空き家抑制事業、IJU空き家改修支援事業補助金)等による支援による支援。	75人／年	有
		定住者数	146人／年	105人／年	118人／年	87人／年	53人／年	109人／年	68人／年	・新築又は中古住宅を取得した町内者に対し、定住者支援住宅取得補助金を交付。	175人／年	—

第6節 健全な財政運営

基本施策	具体的施策	項　　目 内容はKPIより。	現状値(R1) KPIより。	実績(R2)	実績(R3)	実績(R4)	実績(R5)	実績(R6)	実績(R7) 期末	取組内容・状況(R7) 期末	目標値(R12)	総合戦略
第1項 健全な財政運営	1．行財政改革の推進	財政調整基金の残高	16億 3,366万円	14億 5,919万円	18億 4,897万円	22億 4, 339万円	20億 8,033万円	20億 8,052万円	21億 1,523万円	ふるさと納税、補助金などの特定財源の確保と効率的な行政運営に努めている。	10億円	—
		起債残高 ※町全体の借金残高	170億 6,200万円	165億 7,259万円	160億 633万円	145億 8,980万円	137億 9,200万円	134億 475万円	142億 2,989万円	補助金の確保に努めるなど、借入れ以外の財源の確保に努めた。また、繰上償還を行ない、起債残高及び将来負担の軽減策を行った。	117億円	—
	2．歳入確保に向けた取り組み	町税等徴収率 (現年度・滞納繰越)	99.2%	98.4%	99.4%	99.8%	99.8%	99.7%	99.5%	新規滞納者や累積のない滞納者に対しては電話や通知による催告を早期に行い、納税意識の希薄な滞納者に対しては適切な滞納処分に取り組んだ。	維持	—